



新しい年が明けて早や一ヶ月、お待たせしましたが、久しぶりの Strum をお届けします。年明け早々にイギリスに戻った伊都さんは、多忙と寒さにダウン！熱のある中、原稿を送ってくれました。日本でもインフルエンザが流行中、くれぐれもお気をつけください。さて、年が変わって満 7 歳になる TRAUBEN、ポチポチの歩みですが、今年も皆様とご一緒に音楽を楽しんでいきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします！

## 近況報告

第 12 回リサイタルが皆様に支えられて、成功のうちに終わられましたこと、心より感謝申し上げます。念願のベートーヴェンのクロイチェルソナタが演奏できたこと、一つの目標達成となり、また新たに今年も、私の演奏が何か、人の心の琴線に触れることができることを願って、ゴールはありませんが、たゆむことなく先に進んでいきたいと思っております。

新年あけたばかりと思っていたらすでに 1 月末、日本はもう立春、新しい季節の気配が漂い始めた頃かと想像しながら、イギリスは冬の中で一番厳しい時期を迎えています。クリスマス、新年を終え、4 月のイースターまで特にイベントもないヨーロッパのこの 1 月、2 月は、燃え尽き症候群と言うべきか、最も日照時間が短い日々、寒さと天気のおそろしさも一段と身に染み、自殺者が多らしく、私のいたウィーン音大は 2 月、テンションの低い学生を励ますべく、スキーでもして楽しんでおいで！と 1 か月の休みがありました。ウィンタースポーツの盛んでないイギリスでは特にこれといった楽しみもないので、パブ（イギリスの居酒屋）の人口密度の高さと、ウィンターセールの買い物と観劇にいそむ人々の姿が見られます。なんとなく街全体寂しい雰囲気ですが、裏を返せば一年で唯一のオフシーズンのこの時期、人ごみの嫌いな私にとっては、美術館、観劇、コンサートをゆっくり楽しめるベストシーズンです。また音楽家にとっては他にイベントがないので、集客が一番見込める時期になります。

2 月の半ばに引っ越しがあり、準備に大わらわですが、演奏依頼も多く、2 月の末から 3 月にかけて、初インドとブータンでも演奏ができるかもしれないとのことで、今年も様々な場所で、多くの人に音楽が素敵なおこと、伝えられたらと楽しみにしています。

【伊都】

## 第 12 回加納伊都ヴァイオリンリサイタル

12 月 22 日、年に一度、伊都さんの本格的な演奏が聴けるコンサートに、いつものように大勢の皆さんが足を運んで下さいました。

今回の聴きどころは、何と言っても、ベートーヴェンの「クロイチェル・ソナタ」。彼のヴァイオリンソナタの最高傑作と言われる大曲です。ヴァイオリン、ピアノとも、高度なテクニックと集中力を要する難曲で、特に第 2 楽章は現存するヴァイオリン・ソナタの中では最長の 15 分という長さ。チャレンジした伊都さんとピアニストの松尾久美さん、二人のパワフルで情熱的な演奏は圧巻でした。伊都さんは「昔から弾きたかった曲で、念願叶っての演奏…」とのこと、クラシック音楽の奥深さを改めて感じた時間でした。

伊都さんによると「前半はヘビーな曲なので後半はフレンチものでサラッと…」フォーレとサン＝サーンス。何を仰る、難曲ですが、確かにサラッと喉越しのいい上等のフランスワインをいただいているような気分でした。

アンコールの「Yankee Doodle」は「アルプス一万尺」のあのメロディですが、伊都さんにかかると、こうなるの？というほど乗りこにノットた楽しさに、会場は大いに沸きました。

注目のドレスは、深い海のようなブルーにエメラルドグリーン、アンダードレスはディープパープル、という美しい色合い。大人の女性らしさに溢れていました。





## いとちゃんの クラシック講座

op.21

クラシック講座なのですが、今回はイギリスの階級社会にちなむエピソードをご紹介します。イギリスは階級社会と言われ、日常でも確かに歴然とした違いがあり、また一応クラシックは上流社会のものとか테고ライズされているので、ポッシュ（上流クラスの人たちのこと）な人たちと接することも多いのですが、最近個人的なつながりで、彼らの生活を垣間見る機会に恵まれています。その中のエピソードを一つ。

昨年末ポッシュな友人が、クッキーを買いに行くというので、一緒について行ったら、ついた先はお店でもなんでもなくヴィクトリア朝のお屋敷で、入るのにリストに名前があるかの名前確認と紹介者確認、その後受付にて友人が私を紹介、30分ほど天気の話やらこの間ロイヤルの誰それが買いに来たなどの雑談後、ようやくパティシエがクッキーの並ぶウィンドウに連れていってくれ、一つずつ説明、それは可愛らしいクッキーを一枚ずつ包装してくれ、その後また今度の週末はどこに食べに行くべきだとか、セレブ達についてなどの（その人はジョージ・クルーニーの結婚式にアテンドしたらしい）雑談をし、クッキー何枚か買うのに、正味約2時間、大変な行程を経ることになりました。

でも確かにそのクッキー、たかがクッキーされどクッキーで、見た目もなんともキュートで味もおいしい一点もので、上流階級に憧れがあるわけではないけれど、もう一度食べたいなと思っていたら、今度、ショップがオープンするとのこと。でもあの行程があったらこそのおいしさだったのかも・・・と、ショップに行こうかどうしようか迷っています。

【伊都】



## 憂鬱 in St.John's Wood in London

昨年11月から始まった伊都さんのブログ、もうご覧になりましたか？ 彼女のロンドン生活を綴った文章と写真から、ステージとは違う素顔を覗くことができます。このStrumの原稿ともひと味違う面白さ、と好評です！ 加納伊都ホームページのトップページにあるバナーをクリックして下さいね。



## DVD Classic Collection

作品 No.21  
2012年イギリス

「レ・ミゼラブル」  
アカデミー3部門受賞の感動作



## あらすじ

パンを盗んだ罪で19年間服役したジャン・バルジャンは、仮出獄後に再び盗みを働いてしまうが、司教の慈悲で改心する。8年後、市長となった彼は、極貧生活を送るファンテーヌを助け、愛娘コゼットを託される。執念深いジャベール警部の追跡を逃れ、バルジャンとコゼットは親子として暮らす、やがて激動の時代の波に飲まれていく。

## 見どころ

前号で伊都さんオススメのレ・ミゼ、「モーツァルトもびっくりの音楽の使いまわし方」に注目！ のつもりだったが、観ているうちについ物語に引き込まれ…場面が変わるとシロウトの耳には全く違う曲に聞こえてしまう。結局、使いまわしには2, 3曲しか気づかず仕舞い。皆さんも是非チャレンジを。歌、音楽、豪華キャスト、衣装、見どころ満載の作品。

## 感想

映画館でアン・ハサウェイの「夢やぶれて」を聴いた時は鳥肌もので、アカデミー助演女優賞は納得のシーン。「プラダを着た悪魔」の時とは別人のようだった。DVDでは映画館ほどの迫力はないけれど、体当たりの演技は素敵。子どもの頃読んだ「ああ無情」は、暗い話に気分が重くなったが、ミュージカルの歌の力は、テーマである「愛」をわかりやすく表現してくれる。

\*DVDはTSUTAYAの店舗でレンタル可能な作品のみをご紹介します

**編集後記** 毎年12月の伊都さんのコンサートを聴くたびに、「継続は力」という言葉が頭をよぎります。実力があっても決して恵まれてはいない音楽環境の中、苦勞をしながらの外国生活は13年を越えました。12回のリサイタルも、続けることは容易ではありませんが、皆様の支えのおかげで途絶えることなくやって来られました。積み上げた彼女の鍛錬は毎年驚きや感動となって私たちに伝わってきます。名を上げることは難しい世界ですが、演奏する者と聴く者の間に流れる豊かなひとときを両者が楽しみ、それを継続していくことで得られる「何か」は、とても大きなものに違いありません。(ゆ)

発行：加納伊都後援会 TRAU BEN  
〒231-0835 横浜市中区根岸加曾台 15  
TEL：045-622-6780  
FAX：045-621-6423  
Email：trauben@itokanoh.com  
Homepage：itokanoh.com